

1,600万円～2,500万円の家

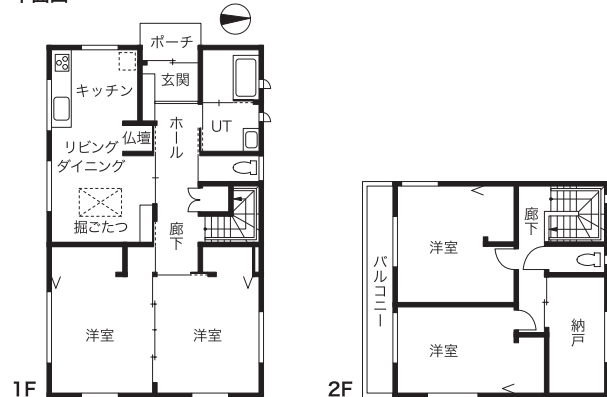
case.03

長寿命

- 将来を見据えたバリアフリー設計
- 耐久性を高めた特許取得の「蔵構法」
- くつろげる掘りこたつのあるリビング



平面図



建築データ

- 構造規模 ■ 木造(蔵構法)・2階建て
- 延床面積 ■ 128.50㎡(約38坪)
- 主な外部仕上げ ■ 屋根/有機繊維混入セメントモルタル板葺、外壁/窯業系サイディング、建具/玄関ドア:既製ドア、窓:アルミ樹脂複合サッシ
- 主な内部仕上げ ■ 床/カラーフローリング、壁・天井/石膏ボード下地ビニールクロス張
- 断熱仕様 ■ 〔外張断熱〕床下/押出法ポリスチレンフォーム3種60mm、壁/押出法ポリスチレンフォーム3種30mm、天井/押出法ポリスチレンフォーム3種100mm
- 暖房方式 ■ エアコン

復興住宅仙台東グループ

問い合わせ先

設計/(株)鎌田建築設計事務所
多賀城市大代4丁目15-19
TEL.022-365-7762

施工/(株)引地製材所
http://www.hikichi.tv/
塩竈市杉の入4-1-19
TEL.022-362-3602

1. 淡いページュの落ち着いた色合いに屋根とサッシをブラックで引きしめた外観
2. 明るい陽射しが降り注ぐ南面に設けたキッチン。システムキッチンなどの水まわりの設備・仕様はグレードの高いものを導入。下部収納を兼ねて仏壇置き場を造作した
3. 1階のOさん夫婦の居室は日当たりのいい南東に
4. 浴室は1.2坪、入り口は引き戸にし、浴槽に手摺りを設けるなどバリアフリーに配慮。洗面台はシャブードレッサーを採用
5. 玄関には全身ミラーと飾り棚を設けた下駄箱を設置。白壁と木目で統一した内装が上品さを演出。フローリング床は傷がつきにくくワックスがけがいらぬタイプ
6. 2階の長男の居室は8.45畳。将来、腰高窓がある壁を壊して増築も可能
7. 将来、車椅子でも通れるように幅1.5mを確保した廊下。階段の幅も広く設定

位置を工夫しています。家族の暮らしの変化に柔軟に対応できる間取り、長く快適に暮らせる性能の家が完成し、Oさんの安心の暮らしがスタートしました。

震災で被災した方のために、より安く良い家を。そんな思いで「復興住宅仙台東グループ」が考案したのが「蔵構法」です。木造軸組工法をベースに、柱の間隔を50cm以内に配置。柱の数が従来の倍以上になるため、強度が大幅に向上しました。さらに柱の接合部を金具で緊結した、耐震性・耐久性に優れた特許工法です。またこの工法では、高断熱の樹脂サッシ、エコキュートなどを標準で採用。延床面積35坪(約115㎡)の標準価格は、設計料、カーテン、照明代なども含み1650万円と低コスト化を実現しています。

Oさんは、その「蔵構法」に惹かれて、鎌田建築設計事務所へ家づくりを依頼しました。60代の夫婦と長男の3人で暮らすOさん宅。リビング・ダイニング・キッチンには、Oさん夫婦が椅子に腰かけた姿勢で使える掘りこたつを設け、心身ともにくつろげる集いの空間にしました。奥さんの希望でキッチンには明るい南向きに配置。1階に設けたOさん夫婦の居室は、仕切れば約8畳と9畳の個室となり、より個人の時間を充実させています。また高齢になった時のことを考え、車椅子でもスムーズに動けるよう廊下や浴室、トイレなどの幅、入り口を広くとりました。2階は長男の居住スペースに。将来増築ができるように階段や廊下の

高性能、低コスト、長寿命を追求した新構法を採用